

メンズパーソナルスタイリスト養成講座



第8講 カジュアルファッションマスター（提案編）

カジュアルファッションの提案

カジュアルファッションと言っても、ビジネス寄りのカジュアルなのか、オフの日の服装なのか、またはデート時を想定しているのかで趣向が異なります。
そのため、目的に応じて最適な提案をすることが必要です。



ジャケットを使ったスタイリング



ジャケットを使ったスタイリングの場合、予算にもよりますが通常はジャケットは1点購入のパターンが多いです。

そのため、コーディネートをする際は

(購入例)

- ・ジャケット 1点
- ・シャツ 2～3点
- ・パンツ 1～2点
- ・シューズ 革靴、スニーカーから1点ずつ

などを購入していただくと同じジャケットでもコーディネートにバリエーションを作ることができ、お客様の満足度も上がります。

※なお、提案段階ではそれぞれのアイテムで複数の提案をできるようにリサーチをかけます。

提案例

outer



pants



デニム/スラックス

inner



シャツ、ニットなど

shoes



スニーカー/革靴

軽装なスタイリング

ジャケットを使わないスタイリングも基本的には各アイテムを数点ずつ押さえます。

ただし、ジャケパンスタイルに比べるとカジュアル味が強い分、チープ感も出がちです。

そのため、コーディネートをする際はどこかに大人っぽさを感じるアイテムを投入します。シンプルに感じる時はアクセサリ、サングラスなどでクセ足しを行います。

(購入例)

- ・ シャツ、Tシャツ 各1点
- ・ パンツ 2～3点
- ・ シューズ 革靴、スニーカーから1点ずつ
- ・ アクセサリ 数点

上記を購入していただくと軽装でもバリエーションが生まれます。

※ここでも、提案段階ではそれぞれのアイテムで複数の提案をできるようにリサーチをかけます。



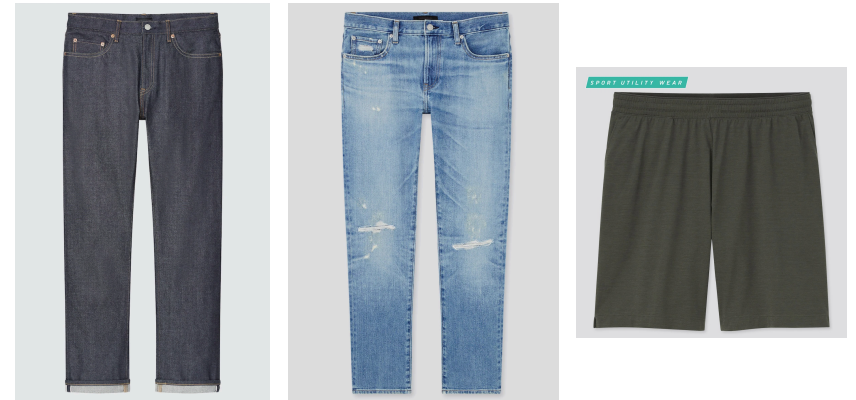
提案例

tops



無地、色柄物、素材違い
シャツ、Tシャツ

pants



デニム、スラックス、短パン

accessory



状況に応じて数点

shoes



スニーカー、サンダル

重衣料のスタイリング



コートやダウンジャケットなどの冬のアウターはそれ自体が高額になりがちです。

そのため、一度購入すると数年は使うことになるのでなるべく着回しが効くものを選びます。

また、秋冬は春夏と比べて衣料品の価格が高額になりがちです。その点もお客様にきちんと伝えます。

(購入例)

- ・コート or ダウンジャケット 1点
- ・パンツ 1～2点
- ・シューズ 革靴 or スニーカー 1点
- ・インナー 2～3点

上記を購入していただくとアウターは一つでも数パターンのスタイリングが可能となります。

※ここでも、提案段階ではそれぞれのアイテムで複数の提案をできるようにリサーチをかけます。

提案例

outer



pants



デニム/スラックスなど

inner



シャツ、ニットなど

shoes



スニーカー/革靴

いざ実践！



Iさま (38歳、会社員)
身長170cm、体重65 kg

ヒアリングから得た情報

・ 現在婚活中でデートで使える洋服の提案をお願いします。予算は全部で15万円くらいです。

苦手な色やファッションは特にはありません。

普段はコムサで洋服を買うことが多いです。

これまで店員さんがオススメする洋服をそのまま購入してきました。

女性から好感を持ってもらえるファッションをお願いします。



【提案例】

- ・ ジャケット 70,000円 (BEAMS)
- ・ シャツ 6,000円 (鎌倉シャツ)
- ・ スラックス 2,980円 (ユニクロ)
- ・ ベルト 6,000円 (参考)
- ・ 靴 35,000円 (参考)
- ・ メガネ 10,000円 (JIN'S)
- ・ ポケット
チーフ 4,000円 (参考)

合計 133,980円

※上記以外でシャツやスラックスの予備を購入するのももちろんOKです。

質疑応答タイム

